



## 2022年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年5月12日

上場会社名 株式会社ドリコム 上場取引所 東  
 コード番号 3793 URL <https://drecom.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内藤 裕紀  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 後藤 英紀 TEL 050-3101-9977  
 定時株主総会開催予定日 2022年6月24日 配当支払開始予定日 2022年6月10日  
 有価証券報告書提出予定日 2022年6月24日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有

（百万円未満切捨て）

### 1. 2022年3月期の連結業績（2021年4月1日～2022年3月31日）

#### （1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	10,528	△11.1	1,591	△22.5	1,541	△23.6	807	△50.3
2021年3月期	11,840	16.7	2,052	232.7	2,019	217.5	1,624	128.4

（注）包括利益 2022年3月期 808百万円（△50.3%） 2021年3月期 1,626百万円（128.0%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年3月期	28.29	28.26	19.4	16.0	15.1
2021年3月期	57.00	56.85	55.0	25.2	17.3

（参考）持分法投資損益 2022年3月期 -百万円 2021年3月期 -百万円

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期	9,653	4,574	46.9	159.06
2021年3月期	9,610	3,855	39.5	132.91

（参考）自己資本 2022年3月期 4,522百万円 2021年3月期 3,794百万円

#### （3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年3月期	1,602	△1,765	△387	4,732
2021年3月期	3,196	△1,140	968	5,283

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2022年3月期	-	0.00	-	5.00	5.00	145	17.7	3.4
2023年3月期（予想）	-	0.00	-	5.00	5.00		11.8	

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	13,000	23.5	2,000	25.7	1,900	23.2	1,200	48.6	42.20

## ※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 - 社（社名）、除外 - 社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有  
② ①以外の会計方針の変更：無  
③ 会計上の見積りの変更：無  
④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 11「3. 連結財務諸表及び主な注記(5) 連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数

2022年3月期	29,072,696株	2021年3月期	28,976,700株
2022年3月期	637,366株	2021年3月期	428,366株
2022年3月期	28,536,540株	2021年3月期	28,505,330株

(注) 株式会社日本カストディ銀行（以下、「ESOP信託口」という。）が所有する当社株式613,300株（議決権の数6,133個）につきましては、上記期末自己株式数に含まれております。

## (参考) 個別業績の概要

1. 2022年3月期の個別業績（2021年4月1日～2022年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	8,815	△10.9	1,068	△26.1	1,226	△14.7	678	△47.1
2021年3月期	9,890	△1.1	1,444	211.9	1,438	256.5	1,283	85.5

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期	23.79	23.77
2021年3月期	45.04	44.92

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期	8,916	4,058	45.0	141.01
2021年3月期	8,898	3,468	38.3	119.43

(参考) 自己資本 2022年3月期 4,009百万円 2021年3月期 3,409百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、2022年5月12日に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明会資料については開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

(「事業計画及び成長可能性に関する事項」の公表について)

「事業計画及び成長可能性に関する事項」につきましては、2022年6月の公表を予定しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(会計方針の変更) .....	11
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	16
4. その他 .....	17

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当社グループは、「with entertainment」を存在意義として掲げており、人々の期待を超えるサービスを生み続けていくことを目指しております。また、今までになかった価値を創造し、ユーザーを魅了する体験を届けていくことに努めております。中期的には、IPを軸に、多様なデジタル・エンターテインメント・コンテンツをグローバルに提供する総合エンターテインメント企業となっていくことを掲げており、持続的成長及び企業価値向上を目指しております。

主力のゲーム事業においては、ゲームの開発・運営が主要事業となっており、他社IPゲーム及びゲームプラットフォーム並びにオリジナルゲームの開発・運営を行っております。また、メディア事業においては、次世代の主力事業創出を目的とした事業開発を行っており、当社の有するインターネットサービスの知見を活かした新規サービスを試験的に立ち上げ、事業化に向けた試行を重ねております。

当連結会計年度における業績は、売上高10,528,500千円（前期比11.1%減）、営業利益1,591,111千円（前期比22.5%減）、経常利益1,541,772千円（前期比23.6%減）となりました。なお、当期中にリリースした2タイトルで減損処理を行ったこと等で特別損失381,399千円が発生し、親会社株主に帰属する当期純利益は807,301千円（前期比50.3%減）となりました。

各セグメントの業績は以下の通りです。

#### ゲーム事業

当期においては、7周年を迎えた当社主力タイトルの1本である他社IPゲームタイトルが年間を通じて好調に推移し、収益に貢献いたしました。また、新規タイトル3本のリリースを行った他、収益性向上を目的として、不採算タイトルのクローズや運用コストの効率化に努めました。

売上高につきましては、運用中タイトルは、競合タイトルとの厳しい戦いを強いられる中でも堅調な推移を維持いたしました。また、当期にリリースした新規タイトルによる貢献がありましたが、複数タイトルのクローズによる影響を補うに至らなかったこと等により前期比で減少いたしました。

利益につきましては、不採算タイトルのクローズによる利益改善がありましたが、新規タイトルリリースに伴う広告宣伝費、運用費の増加により、前期比で減少いたしました。

以上の結果、セグメント売上高は10,358,674千円（前期比11.9%減）、セグメント利益は1,871,529千円（前期比22.6%減）となりました。主力事業である当セグメントにおいては、引き続き運用中タイトルの安定的な収益の維持に努めるほか、開発中の複数の新規タイトルのヒットによる売上、利益の増大を目指して参ります。

#### メディア事業

当期においては、Twitterを活用したファンコミュニティ促進サービス『Rooot』が順調に事業規模を拡大し、収益に貢献いたしました。また、IPプロデュース力の強化を目的とし、IPの開発・獲得、育成、収益化チャンネルの多様化に注力するため、出版・映像事業、Web3事業というゲーム以外のエンターテインメント領域での新規事業立ち上げを行いました。

売上高につきましては、『Rooot』が順調にサービスを拡大しており、前期比で増加いたしました。

利益につきましては、業績拡大への大きなチャンスと捉え積極的に新規事業領域への投資を行っており費用先行が継続しておりますが、増収効果で損失額は前期比で減少いたしました。

以上の結果、セグメント売上高は169,825千円（前期比99.7%増）、セグメント損失は280,418千円（前期はセグメント損失364,451千円）となりました。当セグメントにおいては、中長期的な事業成長を目指し、今後も積極的な研究開発投資を促進して参ります。

今後につきましては、主力のゲーム事業において一層の採算性向上に取り組むほか、新規タイトルのリリースによる売上成長を目指してまいります。また、積極的な投資を行い、ゲーム以外のエンターテインメント領域での事業開発に注力し、IPを軸とした総合エンターテインメント企業への成長を目指してまいります。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は6,766,009千円となり、前連結会計年度末に比べ903,136千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が550,907千円、売掛金が356,622千円減少したことによるものであります。固定資産は2,887,461千円となり、前連結会計年度末に比べ946,184千円増加いたしました。これは主にソフトウェア仮勘定が862,307千円増加したことによるものであります。この結果、総資産は9,653,470千円となりました。

(負債)

当連結会計年度末における負債合計は5,079,395千円となり、前連結会計年度末に比べ718,711千円減少いたしました。これは主に未払法人税等が256,376千円、銀行借入が202,000千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は4,574,075千円となり、前連結会計年度末に比べ718,758千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する当期純利益807,301千円を計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は46.9%（前連結会計年度末は39.5%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ550,907千円減少し、4,732,985千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況と要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは1,602,824千円の収入となりました。主な増加要因は、税金等調整前当期純利益の計上額1,164,568千円、減価償却費の計上額536,543千円、減損損失の計上額285,108千円、売上債権の減少額356,622千円であり、主な減少要因は未払消費税等の減少額163,115千円、未収消費税等の増加額151,174千円、法人税等の支払額635,967千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは1,765,956千円の支出となりました。主な要因は無形固定資産の取得による支出1,704,144千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは387,775千円の支出となりました。主な増加要因は長期借入れによる収入449,000千円であり、主な減少要因は長期借入金の返済による支出697,000千円、自己株式の取得による支出149,948千円であります。

(4) 今後の見通し

2023年3月期以降につきましては、主力のゲーム事業において一層の採算性向上に取り組むほか、新規タイトルのリリースによる売上成長を目指してまいります。

また、積極的な投資を行い、ゲーム以外のエンターテインメント領域での事業開発に注力することで、IPを軸に、多様なデジタル・エンターテインメント・コンテンツをグローバルに提供する総合エンターテインメント企業となることを目指して参ります。

2023年3月期におきましては、ゲーム事業において既存の運用中タイトルからの収益貢献と、下期からの新規リリースタイトル3本の着実なヒットによる業績拡大を目指しております。

新規事業につきましては、引き続きファンコミュニティ促進サービス『Rooot』の事業拡大を目指して参ります。また、出版・映像事業におけるIP創出、Web3事業の研究開発に積極的に投資を進めて参ります。

上記を踏まえて、2023年3月期の連結業績見通しにつきましては、売上高13,000,000千円、営業利益2,000,000千円、経常利益1,900,000千円、親会社株主に帰属する当期純利益1,200,000千円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しています。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,288,132	4,737,225
売掛金	1,841,939	1,485,317
仕掛品	7,077	10,144
前払費用	174,067	157,555
その他	357,928	375,766
流動資産合計	7,669,146	6,766,009
固定資産		
有形固定資産		
建物	259,203	184,236
減価償却累計額	△173,499	△13,603
建物(純額)	85,704	170,632
工具、器具及び備品	82,817	69,030
減価償却累計額	△67,283	△33,995
工具、器具及び備品(純額)	15,534	35,034
リース資産	61,853	7,232
減価償却累計額	△48,190	△2,007
リース資産(純額)	13,663	5,225
有形固定資産合計	114,901	210,891
無形固定資産		
ソフトウェア	407,586	557,325
ソフトウェア仮勘定	471,118	1,333,425
無形固定資産合計	878,704	1,890,751
投資その他の資産		
投資有価証券	7	7
繰延税金資産	434,953	465,737
敷金	318,138	199,404
その他	194,571	120,668
投資その他の資産合計	947,671	785,818
固定資産合計	1,941,277	2,887,461
資産合計	9,610,423	9,653,470

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	363,542	357,864
短期借入金	100,000	146,000
1年内返済予定の長期借入金	640,000	808,000
リース債務	14,773	1,281
未払金	660,610	579,036
未払法人税等	398,455	142,079
賞与引当金	174,055	138,497
資産除去債務	150,414	—
その他	680,033	537,158
流動負債合計	3,181,884	2,709,917
固定負債		
長期借入金	2,430,000	2,014,000
リース債務	6,387	4,806
資産除去債務	34,060	100,000
その他	102,774	250,671
固定負債合計	2,573,222	2,369,478
負債合計	5,755,106	5,079,395
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,761,208	1,792,991
資本剰余金	2,017,979	2,050,152
利益剰余金	146,380	953,681
自己株式	△131,058	△274,029
株主資本合計	3,794,509	4,522,796
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△92	7
その他の包括利益累計額合計	△92	7
新株予約権	58,651	49,067
非支配株主持分	2,247	2,203
純資産合計	3,855,316	4,574,075
負債純資産合計	9,610,423	9,653,470

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
売上高	11,840,739	10,528,500
売上原価	7,843,744	6,731,898
売上総利益	3,996,994	3,796,602
販売費及び一般管理費		
給与手当	403,251	463,599
賞与引当金繰入額	147,814	107,764
支払手数料	103,697	113,793
広告宣伝費	71,055	243,741
研究開発費	366,142	345,240
その他	852,167	931,352
販売費及び一般管理費合計	1,944,128	2,205,491
営業利益	2,052,865	1,591,111
営業外収益		
受取利息	31	52
受取配当金	8,072	—
出資金運用益	16,986	609
助成金収入	10,360	—
その他	2,262	359
営業外収益合計	37,712	1,020
営業外費用		
支払利息	30,295	44,747
支払手数料	24,155	1,249
社債利息	259	—
為替差損	16,484	4,080
その他	153	281
営業外費用合計	71,347	50,359
経常利益	2,019,231	1,541,772
特別利益		
新株予約権戻入益	—	4,195
特別利益合計	—	4,195
特別損失		
投資有価証券評価損	—	96,290
減損損失	—	285,108
特別損失合計	—	381,399
税金等調整前当期純利益	2,019,231	1,164,568
法人税、住民税及び事業税	514,034	386,520
法人税等調整額	△121,229	△30,828
法人税等合計	392,804	355,692
当期純利益	1,626,426	808,876
非支配株主に帰属する当期純利益	1,743	1,574
親会社株主に帰属する当期純利益	1,624,683	807,301



## (連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
当期純利益	1,626,426	808,876
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△40	100
その他の包括利益合計	△40	100
包括利益	1,626,385	808,976
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,624,642	807,401
非支配株主に係る包括利益	1,743	1,574

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,735,288	1,991,623	△1,478,302	△136,203	2,112,405
当期変動額					
新株の発行	25,920	25,920			51,840
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,624,683		1,624,683
自己株式の処分		435		5,144	5,580
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	25,920	26,355	1,624,683	5,144	1,682,103
当期末残高	1,761,208	2,017,979	146,380	△131,058	3,794,509

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配 株主持分	純資産合計
	その他有価証 券評価差額金	その他の包括 利益累計額 合計			
当期首残高	△51	△51	53,752	2,436	2,168,542
当期変動額					
新株の発行					51,840
親会社株主に帰属する 当期純利益					1,624,683
自己株式の処分					5,580
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△40	△40	4,899	△189	4,669
当期変動額合計	△40	△40	4,899	△189	1,686,773
当期末残高	△92	△92	58,651	2,247	3,855,316

当連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,761,208	2,017,979	146,380	△131,058	3,794,509
当期変動額					
新株の発行	31,783	31,783			63,566
親会社株主に帰属する 当期純利益			807,301		807,301
自己株式の取得				△149,948	△149,948
自己株式の処分		389		6,977	7,366
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	31,783	32,172	807,301	△142,970	728,287
当期末残高	1,792,991	2,050,152	953,681	△274,029	4,522,796

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配 株主持分	純資産合計
	その他有価証 券評価差額金	その他の包括 利益累計額 合計			
当期首残高	△92	△92	58,651	2,247	3,855,316
当期変動額					
新株の発行					63,566
親会社株主に帰属する 当期純利益					807,301
自己株式の取得					△149,948
自己株式の処分					7,366
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	100	100	△9,584	△43	△9,528
当期変動額合計	100	100	△9,584	△43	718,758
当期末残高	7	7	49,067	2,203	4,574,075

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	2,019,231	1,164,568
減価償却費	626,679	536,543
のれん償却額	25,461	-
減損損失	-	285,108
株式報酬費用	41,266	41,720
受取利息及び受取配当金	△8,103	△52
投資有価証券評価損益 (△は益)	-	96,290
支払手数料	24,155	-
支払利息	30,295	44,747
社債利息	259	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△109,752	356,622
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△7,136	△2,809
未収消費税等の増減額 (△は増加)	-	△151,174
前払費用の増減額 (△は増加)	202,024	△18,678
仕入債務の増減額 (△は減少)	△61,589	△5,678
未払金の増減額 (△は減少)	84,377	42,453
未払消費税等の増減額 (△は減少)	150,506	△163,115
前受金の増減額 (△は減少)	136,190	△136,190
賞与引当金の増減額 (△は減少)	103,296	740
その他	146,124	182,111
小計	3,403,286	2,273,207
利息及び分配金の受取額	9,597	973
利息の支払額	△34,594	△43,956
法人税等の支払額	△181,823	△635,967
法人税等の還付額	0	8,567
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,196,465	1,602,824
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△11,742	△70,500
無形固定資産の取得による支出	△536,254	△1,704,144
投資有価証券の取得による支出	-	△96,290
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△326,000	△129,813
敷金及び保証金の回収による収入	-	177,310
敷金及び保証金の差入による支出	△215,704	△4,010
事業譲渡による収入	-	94,779
その他	△50,469	△33,287
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,140,170	△1,765,956
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,080,000	46,000
長期借入れによる収入	3,125,845	449,000
長期借入金の返済による支出	△1,011,663	△697,000
社債の償還による支出	△45,000	-
自己株式の取得による支出	-	△149,948
その他	△20,291	△35,827
財務活動によるキャッシュ・フロー	968,890	△387,775
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,025,185	△550,907
現金及び現金同等物の期首残高	2,258,707	5,283,892
現金及び現金同等物の期末残高	5,283,892	4,732,985

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下、「収益認識会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これにより、ユーザーからの課金収入について、ゲーム内通貨の消費時に売上を計上してはりましたが、提供するアイテムの性質に応じた売上を計上する方法に変更しております。なお、当社グループがユーザーに対し提供するアイテムはおおむね消費性アイテム(ユーザーの一定の行為により消費され、継続的な便益をユーザーにもたらさない。)であり、アイテムの購入から消費までの期間が極めて短いことから、アイテムの販売時に売上を計上しています。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、当連結会計年度の期首の利益剰余金及び損益に与える影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

従って、当社はサービス別のセグメントから構成されており、「ゲーム事業」、「メディア事業」の2つを報告セグメントとしております。

「ゲーム事業」は、主にスマートフォン上でプレイするソーシャルゲームの企画、開発及び運用を行っております。「メディア事業」は、当社が過去培ったノウハウや有する最先端技術を応用し、当社の中長期の成長を担う新規事業の創出に取り組んでおります。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部取引及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	ゲーム事業	メディア事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,756,206	84,533	11,840,739	-	11,840,739
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	496	496	△496	-
計	11,756,206	85,030	11,841,236	△496	11,840,739
セグメント利益又は損失(△)	2,417,814	△364,451	2,053,362	△496	2,052,865
セグメント資産	3,816,128	71,208	3,887,336	5,723,086	9,610,423
その他の項目					
減価償却費	614,987	11,691	626,679	-	626,679
のれん償却費	25,461	-	25,461	-	25,461
有形固定資産及び無形固定資 産の増加額	568,136	504	568,641	-	568,641

(注) 1. セグメント資産の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金、繰延税金資産であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	ゲーム事業	メディア事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,358,674	169,825	10,528,500	-	10,528,500
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	10,358,674	169,825	10,528,500	-	10,528,500
セグメント利益又は損失(△)	1,871,529	△280,418	1,591,111	-	1,591,111
セグメント資産	4,354,514	95,993	4,450,508	5,202,962	9,653,470
その他の項目					
減価償却費	531,396	5,146	536,543	-	536,543
減損損失	280,012	5,096	285,108	-	285,108
有形固定資産及び無形固定資 産の増加額	1,863,670	23,902	1,887,573	-	1,887,573

(注) 1. セグメント資産の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金、繰延税金資産であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 【関連情報】

前連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社バンダイナムコエンターテインメント	3,624,547	ゲーム事業
株式会社バンダイナムコネクサス	2,639,924	ゲーム事業
Apple, Inc.	1,950,152	ゲーム事業

当連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社バンダイナムコエンターテインメント	3,409,932	ゲーム事業、メディア事業
株式会社バンダイナムコネクサス	2,048,344	ゲーム事業
Apple, Inc.	1,628,897	ゲーム事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

(単位：千円)

	ゲーム事業	メディア事業	全社・消去	合計
減損損失	280,012	5,096	-	285,108

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

(単位：千円)

	ゲーム事業	メディア事業	全社・消去	合計
当期償却額	25,461	-	-	25,461
当期末残高	-	-	-	-

当連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。



## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
1株当たり純資産額	132円91銭	159円06銭
1株当たり当期純利益金額	57円00銭	28円29銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	56円85銭	28円26銭

(注) 1. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	1,624,683	807,301
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	1,624,683	807,301
普通株式の期中平均株式数(株)	28,505,330	28,536,540
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	72,034	26,652
(うち新株予約権(株))	(72,034)	(26,652)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	3,855,316	4,574,075
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	60,898	51,270
(うち新株予約権(千円))	(58,651)	(49,067)
(うち非支配株主持分(千円))	(2,247)	(2,203)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	3,794,417	4,522,804
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(株)	28,548,334	28,435,330

3. 株主資本において自己株式として計上されているESOP信託口が所有する当社株式数は1株当たり当期純利益金額算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(前連結会計年度407,300株、当連結会計年度613,300株であります)。また、1株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式数に含めております(前連結会計年度407,300株、当連結会計年度613,300株であります)。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

該当事項はありません。